

けやき苑認知症対応型通所介護
運営推進会議 委員各位

令和 2 年度下半期 けやき苑認知症対応型通所介護
運営推進会議の開催について（書面開催）

当運営推進会議については、新型コロナウイルス感染症への対応として、書面開催するよう三鷹市より通知がありました。つきましては下記のとおりサービス提供状況等について報告致します。
お忙しいところ恐縮ですが、けやき苑認知症対応型通所介護（以下、けやきの会）へのご要望やご助言等をご記入いただき、ご返送下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 実績および利用状況
※資料①
2. 苦情、事故等
※資料②
3. けやきの会に携わる職員からの「声」
※資料③

（書面開催の方法）

- ・報告書をお読みいただき「返信用紙」にご記入下さい。
- ・ファックスまたは郵送にて、5 月 15 日（土）までにご提出をお願いします。

けやき苑認知症対応型通所介護事業 利用実績等（令和2年度下半期）

【実績及び利用状況】（令和2年10月～令和3年3月）

＜実施日数＞

10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	23	24	23	22	26

* 2度目の緊急事態宣言が発令されましたが、認知症状の進行予防や生活リズムの乱れによる悪影響・ご家族の介護体制などを考慮し、通所介護事業は休館にはせず感染予防対策を徹底しながら営業を継続しました。

＜登録人数＞

10月	11月	12月	1月	2月	3月
20	21	21	20	21	20

* 登録人数は増減が殆どありませんでしたが、コロナウイルス感染予防のために欠席された方や、健康状態の低下により通所を欠席される方もいらっしゃいました。

＜新規受入数＞

10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	1	0	1	0

* 新規利用者は10月、11月、12月、2月に1名ずつ増えました。12月の新規は一般型通所からの移行となっています。

* 上半期同様に新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発令もあり、居宅や包括からの新規相談や見学依頼数が減少していることは続いており、新規利用者の獲得にはつながりにくい状況でした。

＜終了者数＞

10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	1	1	0	1	1

* 利用終了者は計4名。11月終了の1名は小規模多機能型居宅介護に移行されました。

* 他3名はご本人の健康状態悪化により、入院または在宅療養が必要となりました（お一人は逝去）

＜利用者年齢＞ 平均84.4歳

65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
1	1	5	3	7	6	0	0

* 前回の運営推進会議（令和2年10月書面開催）と比較すると、75歳～79歳が増えており、また、85歳～89歳、90歳～94歳に該当する方が多く、総数の半数を占めていました。

* 個別支援を中心にした認知症対応型通所介護ではありますが、利用者の実年齢（65歳～94歳）に約30年の幅があることから、グループ活動の運営計画や準備にも体力や疲労度、身体機能状態に配慮した支援が重要となっています。

＜通所回数＞ 平均2.4回

1回	2回	3回	4回	5回	6回
5	8	7	1	0	2

* 通所回数は週2～3回利用が大半を占めています。新規の方は週1回利用で開始して慣れてから増やす傾向があります。

* 週2回の方は他サービス併用により曜日が限定されたり、週3回の方は年齢層の高い90歳代の方が多く、疲労を心配したご家族が1日おきの通所利用を希望されることがあります。また、認知症状や自宅での様子、介護状況などから毎日通所を希望される方もおり2名が利用中です。

<要介護度別の実利用者数>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	3	3	4	4	4	4
要介護2	5	6	6	6	6	6
要介護3	7	7	6	5	6	6
要介護4	5	5	5	5	5	4
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	20	21	21	20	21	20

* 前回の運営推進会議（令和2年10月書面開催）の資料と比較したところ、要介護1と要介護4の実人数が増えていました。

* 年齢層が広がったことに加えて、身体機能低下や認知症によるBPSDもあり、個々の状態把握と臨機応変な対応がより一層必要となっています。

<延べ利用者数、一日の平均利用人数、利用率>

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	30	26	23	19	20	29
要介護2	66	54	54	58	53	57
要介護3	75	58	57	59	59	75
要介護4	26	22	23	18	15	27
要介護5	0	0	0	0	0	0
1日平均人数 (定員12名)	7.3	7	6.5	6.7	7.1	7.2
利用率	60.8%	58.0%	54.5%	55.8%	59.1%	60.3%

* ご家族の介護負担軽減のためにショートステイを併用されている方もいます。また、体調を崩して欠席が続いてしまう方もいらっしゃいました。活動運営ではコロナ感染対策を継続していますが、飛沫感染対策として調理活動や音楽活動なども控えるようになりました。

<曜日別登録人数：1日定員12名>

	月	火	水	木	金	土
要介護1	3	1	1	1	1	0
要介護2	3	3	2	3	1	4
要介護3	3	4	3	3	5	3
要介護4	1	1	2	2	1	1
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	10	9	8	9	8	8

※令和3年3月末での登録人数は20名です（女性19名、男性1名）

そのうち、けやき苑入浴利用者は13名です。

認知症対応型通所介護（けやきの会）「事故・ヒヤリハット・苦情等の報告について」

令和2年度下半期（令和2年10月～令和3年3月）

◆事故・ヒヤリハット（2件）

発生日時	氏名	内容	発生状況	原因分析	再発防止策
3/17 （水） 10:30	91歳 女性 要介護3	【利用者の衣類破損】	【入浴介助にて】 入浴脱衣時に声をかけながら、後方から肌着に手をかけて引き上げた際に、背中中央部分に指が入るぐらいの穴が開いてしまった。	* 時間が気になり慌ててしまった。 * 介助技術が欠けていた。	* 基本的な介助方法を確認し、利用者の状況に応じた対応を行う。
3/19 （金） 16:25	74歳 女性 要介護1	【荷物の渡し忘れ】	【帰りの送迎にて】 最終利用者を送ったあとに、ご本人のバッグが座席シートにあるのを発見した。	* 乗車時にシートベルト装着は対応したが、ご本人がショルダーバッグを自分で外したことに気づけなかった。 * 降車時も忘れ物がないか点検しなかった。	* 乗車時に所持品を確認する。 * 降車時には忘れ物がないか再度車内を点検確認する。

◆苦情（なし）

けやき苑 令和2年度下半期

認知症対応型通所介護 運営推進会議

下半期の運営推進会議では、日々介護に携わっている現場職員の“声”を発信できたらと思い、非常勤を含む全職員にアンケートを実施しました。けやき苑職員が日々どんなことを思いながら、ご利用者と接しているのか、地域の方や他事業所の方々に発信させていただくことで、“けやき苑の「けやきの会」”について、より深く知っていただく機会となれば嬉しいです。尚、アンケートの回答内容はなるべく原文のまま記載しております（※一部抜粋）。

■「けやきの会」の利用者と接するうえで、あなたが大切にしていることは何かありますか？ （あるという方は）その理由も教えてください

- ・認知症で不安に感じる部分は人それぞれだと思うので、なぜ、どんな時に不安になってしまうのかを考えるようにしています。
- ・認知症といっても一人ひとり性格も症状も違うので、その方に合った接し方を心がけています。
- ・利用者が「安心する場や時間を過ごせること」「一人ひとりが今の自分でも良いんだと思える雰囲気作り」「その方の個性を大切にすること」を大切にしたいと思っています。
- ・認知症があっても一人ひとりの人間性を認め合い、出来たことや楽しいことを一緒に分かち合えるような活動をしていきたいと思います。利用者を知り、その背景で生活を支えているご家族の支えにもなれたらと思います。
- ・その方のこれまでの人生を大事に、得意なことやご自身が得意気に話せる話題を聞き出すようにしています。

■ 一般型通所プログラムとの違い、良さはどんなところだと思いますか？

- ・個別に対応できるところ。
- ・利用者個々の良い面、できるところを伸ばせるような活動をできるところ。
- ・良い意味で騒がしくない、ゆったりとした雰囲気がある。不穏になる一歩手前で声をかけることができる。活動内容に柔軟性があり自由がきく。
- ・専用の部屋があることは「自分たちの居場所」としての安心感があると思います。
- ・職員が個別に一人ひとりに丁寧に関われる体制があり、小さな変化に気づくことができます。職員は一人ひとりの状態や支援について、職員間で常に情報交換、共有する雰囲気があると思います。一人ひとりにじっくり関われること。その方が不安に思うことを把握して、不安に思う前に声かけられること。その方のペースに合わせて過ごせること。その日の会話からやってみよう！と活動につなげられること。
- ・一日を通して同じ部屋、同じメンバーで過ごしていただくことで、顔馴染み感ができ、安心感を持っていただける。

■「けやきの会」の課題点はどんなところだと思いますか？

また、改善策があれば、教えてください！

・利用者を個別に見て対応することは大切で、素晴らしいことだと思いますが、お仲間として過ごせるような活動内容や対応についても考えていけると良いと思います。

また、認知症の BPSD の対応について職員のスキルが高められると良いと思います。

・利用定員 12 名になかなか届かず、少ない利用者対応が続いています。

個別対応の方法も含め、4 名の職員で活動展開をどう組み立てていくか、今後に向けて考えていきたいと思っています。

■最後に…

「けやきの会」利用者との関わりのなかで、他の人にも教えたいというエピソードがあればぜひ・・・！

・「あなたの顔を見るとなんだか安心するから頼りにしているわ」と言ってくれた A さん。認知症により記憶保持が難しい方でも、日頃の接し方でちゃんと信頼関係を築けることを実感しました。

・信頼関係ができてきて、入浴ができるようになったり、トイレの手伝いができるようになったりと、良い関係が深まっていくことかなと思います。それまで落ち着かなかった方が笑顔になった時には単純に嬉しいです。長く働いているので全員にすべてエピソードがあります。

・認知症があるからって何もわからなくなるわけじゃありません。できることがたくさんあります。体操では職員よりも足が高く上がる方もいます。

笑い声があふれている「けやきの会」です。

【おわりに・・・】

今回、「けやきの会」に関するアンケートを職員全体に初めて実施しましたが、これだけ多くの回答が得られるとは、正直、驚きました…！

「けやきの会」の良さも理解しながら、一方で課題点も感じている現状です。

今回のアンケート結果を基に、けやきの会の活動運営についても検討していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

三鷹市高齢者センターけやき苑 苑

(ファックス 0422-34-6538)

令和2年度 下半期 けやき苑認知症対応型通所介護 運営推進会議（書面開催）

返信用紙

ご記入者名	民生委員
ご意見・ご要望・ご助言等	アンケートの結果、読ませていただきました。スタッフの皆さんが、常に気を配りながら利用者さんと接していらっしゃる事が良くわかりました。そして感謝いたします。 けやき苑では、やはり、まず「安全」。利用者さんは殆どが高齢者なので、送り迎えも含めて転んだり、ぶつかったり、滑ったりしないように気をつけること。 そして「安心」。滞在中にはリラックスして、楽しんで過ごせるように気をつけること。この「安全・安心」が、まず、第一ではないかと改めて思います。

ご記入者名	地域包括支援センター
ご意見・ご要望・ご助言等	コロナ禍で、利用者様も職員の皆様も感染に対し、最大限の努力・配慮をされているところだと思います。そのような中で、利用者数が維持されているのはデイの必要性を利用者様・ご家族が求めているからだと思います。 それとともに、職員の方々の意識の高さを「声」を拝読して感じました。 今後も大変な日々が続きますが、安定したサービス提供ができるよう願っています。

ご記入者名	認知症介護に知見を有する者
ご意見・ご要望・ご助言等	アンケートお疲れさまでした。非常に良い取り組みですね。全職員から集計されたとの事で、その総数は何名か記載あれば良いと思います。 小規模多機能型居宅介護では、毎年第三者による評価を運営基準とされています。職員アンケートは、今後の事業方針や職員教育をどうしていくか考える素材となります。是非、この結果をけやき苑全体で共有して下さい。 コロナ禍で日々様々な対応があり、不安で働いている職員もいらっしゃると思います。利用者、その家族の支援はもちろんですが、職員の変化にも気を配らなくてはいいませんね。お互い支え合いながら、この局面を乗り越えましょう。